

宮久保には伝説的な地名が多いようです。宮久保小学校から台地が東の方向に延びている一角を美女ヶ崎みづめヶさきといひます。その昔一人の美しい姫が病にかかり、都を離れてこの地に流れ着いたところから名づけられたといひます。この姫は天神さまを信仰し、その像をふところに納めていたところ

⑭



宮久保 (2)

から、姫が流れ着いた美女ヶ崎の沖合(三丁目17、19)を天神てんじん沖おきとよびました。

村人たちは姫を助け、現在白幡神社のある台地に住まわせました。姫は天神さまを祀りまつ、そこに天満神社が建てられたので、この一帯を菅原すがはら(天満神社の祭神は菅原道真)とよぶようになったといひます。